



自由人物理 波動論 量子力学 原論

西村肇(東京大学名誉教授)

A5判 上製 420頁 定価:【本体3,518円】+税

専門家必読 付録 増補 「スピンとは何か」

I 電子のスピンは電子の自転ではない II Dirac の決定打. なぜ相対論なのか III Dirac 理論への必須入口が Pauli 理論 IV スピン性とは何か Landau V 座標軸の回転と角運動量の関係がスピン VI 複素数波動関数を表現する図形新モデル

※既に本篇購入済で本付録ご希望の方は返信用切手 120 円分同封の上本の森までご請求下さい。

■目次

出発インタビュー なぜ自由人物理なのか

◆第一部 I Newton の偉大と英国物理の死 大陸物理の自由と花開いた Euler / II 学問的総合としての Lagrange 力学 / III 場の物理学としての Maxwell 電磁気学 / IV 古典力学の総合 Hamilton 力学 / 分水嶺 Planck 「量子発見」の見直し

◆第二部 混迷を見透かす「物理派」眼鏡 / V 言葉で考える物理学 de Broglie (ドブロイ) / VI 量子力学最高位の Heisenberg を見直す / VII Schrödinger 波動方程式と Schrödinger / VIII 見えて来た現代物理学の骨格と本質 / 電子こまスピンモデルを見直す新モデルの提案 / 化学と物理の断絶なくす新理論

◆第三部 自由人物理の歴史と実績 / リサイクルプロセスの最適化 / 瀬戸内海汚染研究 / 自動車排ガス 1/10 規制実現 / 公害研究禁止 / 遺伝子工学へ転進 / 水俣病の科学

本の森 〒984-0051 仙台市若林区新寺1丁目5-26-305 電話&ファクス022 (293) 1303 forest1526@nifty.com